

第4号

発行日 平成30年6月11日

発行元 三次市建設部都市建築課



尾関山ファンクラブ通信

会員数 101名
(H30.6.11現在)

4月7日（土曜日）に桜勉強会と みんなで花見をしました！

ずいぶん間が開いてしまいましたが、ファンクラブ会員の皆さまにはお変わりございませんでしょうか。

さて、4月7日（土）にはあいにくの天候の中、桜勉強会と花見にお越しいただきありがとうございます。24人の方にご参加いただき、花も終わりかけの時期でしたが楽しんでいただけたのではないかと思います。その日は、風が強く庄原市高野町では雪が降って高速道路も除雪していました。

4月7日は、桜勉強会をしましたが、樹木医の正本先生の話聞きながら尾関山の清心池をスタートして歩いていただきました。浅野神社では昨年度、整備した新しいトイレも見ていただいたのではないかと思います。お気づきの方も多かったのではないかと思います。尾関山は桜も立派ですが、コバノミツバツツジというツツジが群生しています。山口県にある江汐公園（コバノミツバツツジの観光名所）に負けにくい立派だと、正本先生に同行されていた市外の方も話されていました。尾関山の魅力を発信していくためには、このコバノミツバツツジは非常に大切なものだと思います。食事の後、展望台から降りてくる道すがら正本先生と話をしたのですが、桧と杉の群生地にコバノミツバツツジを植えたらよいと思うと話をされました。また、6月頃に挿し木ができるそうで、尾関山ファンクラブの活動として、コバノミツバツツジの挿し木をしたらどうかと提案していただいたところです。

さて、話は食事に戻りますが、展望台でファンクラブの皆さんと一緒に弁当を食べました。散りかけの桜ではありましたが、みんなで外で食べる食事はとてもおいしく感じたところです。これからも剪定作業等を行っていますが、この作業で年々、いい方向へ変わっていく尾関山の桜を楽しみに、4月の桜の時期には皆さんと集まって、桜談義をしたいと思います。

平成30年3月31日付けをもって廃線になった三江線と尾関山の桜土手の写真を載せます。夜の闇の中、走っていく三江線を見ながら、今年、例年になく桜が早く咲いたのは、三江線の廃線に合せたような、そんな気がしました。今年の2月25日と26日に、ファンクラブの皆さんに作業をしていただいた桜土手の桜は、多くの病気の枝を剪定しましたので、今年、どんな風に咲くのか心配していましたが、多くの方から「よくなった！」との声を聞かせていただきました。こうして、よくなったと言っただけの声を励みに今年も頑

第3回 尾関山ファンクラブ作業のお知らせ

日時：6月30日（土曜日）13時30分～16時30分

集合場所：尾関山桜土手

作業内容：施肥（お礼肥え）と枯れ枝の運搬作業を行います。作業は桜土手から始めて尾関山の中に入っていきます。

服装等：作業ができる服装、水分補給に飲み物をご持参ください。

駐車場：祝橋上流、江の川右岸河川敷きに停めてください（地図参照）



桜Photo (H30.3.30 (金))



↑ 写真の真ん中に光っているのが三江線です。江津方面に向かっています。右手は桜土手です。



↑ 今年の桜土手の夜桜は特に綺麗に見えました！

桜Photo (H30.4.7 (土))



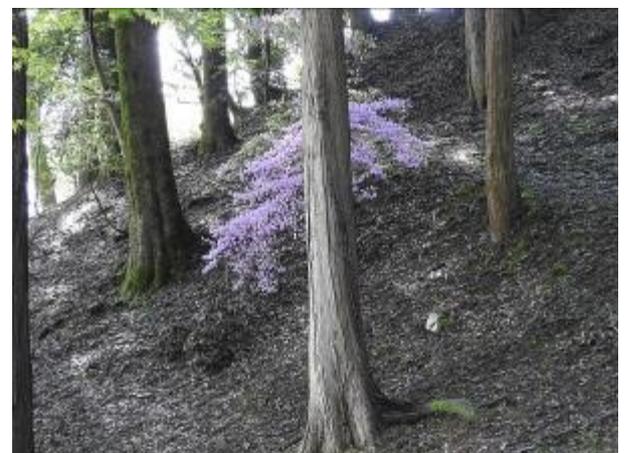
↑ 桜勉強会の様子。浅野神社付近。



↑ 桜勉強会の様子。展望台にて。



↑ ファンクラブの皆さん、食事中です。



↑ ここに、コバノミツバツツジが群生したらきれいかもしれませんね。

